



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月10日

上場会社名 日本化学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4092 URL <https://www.nippon-chem.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 棚橋 洋太
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 熊田 雄司 TEL 03-3636-8060
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	30,442	△1.4	1,987	△40.7	1,975	△41.2	1,835	△21.8
2025年3月期第3四半期	30,871	7.7	3,353	103.6	3,360	90.9	2,346	88.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,699百万円 (45.5%) 2025年3月期第3四半期 1,855百万円 (4.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	209.80	—
2025年3月期第3四半期	265.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	78,392	48,209	61.5
2025年3月期	75,105	46,395	61.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 48,209百万円 2025年3月期 46,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	46.00	—	46.00	92.00
2026年3月期	—	60.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,500	4.3	3,200	△4.3	3,200	—	2,600	1.6	297.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	8,922,775株	2025年3月期	8,922,775株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	166,624株	2025年3月期	187,076株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	8,747,997株	2025年3月期3Q	8,824,807株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(表示方法の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. その他	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、緩やかに回復しつつあるものの、不安定な世界情勢や金融資本市場の変動などの影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画に掲げる成長戦略の推進と新たな価値の創造に向け、サステナビリティ経営の推進をベースとした「事業拡大と体質強化」、「グローバル化の推進」、「新たな価値の創造」という3つの重点施策に、全社一丸となって取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間においては、電子セラミック材料が大幅に増加した一方で、電池材料、ホスフィン誘導体及び燐製品が減少したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。

営業利益につきましては、電池材料における原材料市況価格の変動と販売価格への転嫁にタイムラグが生じたことや、前年度に発生した棚卸資産の評価損の減少効果が剥落したことに加え、上記の売上構成の変化も影響したことで減少しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は304億4千2百万円（前年同期比4億2千9百万円減）となり、営業利益は19億8千7百万円（同13億6千6百万円減）となり、経常利益は19億7千5百万円（同13億8千5百万円減）となりました。

この経常利益に、固定資産売却益5億4百万円、投資有価証券売却益2千9百万円の特別利益を加え、固定資産除却損1億3千6百万円、関係会社清算損5千8百万円の特別損失及び法人税等4億6千5百万円を差引き、更に法人税等調整額1千3百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億3千5百万円（同5億1千1百万円減）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①化学品事業

化学品事業では、クロム製品はめっき向けが堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。シリカ製品は堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。燐製品は低調に推移したことにより、売上高は減少しました。この結果、化学品事業の売上高は、135億1千5百万円（同4億1千2百万円減）となりました。

②機能品事業

機能品事業では、ホスフィン誘導体は海外向け触媒や量子ドット向けが大幅に伸びたものの、有機合成用触媒原料が大幅に落ち込んだことにより、売上高は大きく減少しました。農薬原体は主要顧客向けが好調に推移したことにより、売上高は増加しました。電池材料は資源価格の下落により、売上高は大きく減少しました。電子セラミック材料は車載向けが好調に推移したことに加え、通信向けが大幅に伸びたことにより、売上高は大きく増加しました。回路材料は異方性導電材料向けが低調に推移したことに加え、接着剤向けが大幅に落ち込んだことにより、売上高は減少しました。高純度電子材料は、半導体向けで需要が回復したことにより、売上高は大きく増加しました。この結果、機能品事業の売上高は、159億9千1百万円（同3億5千3百万円増）となりました。

③賃貸事業

賃貸事業は、堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。この結果、賃貸事業の売上高は、7億4百万円（同1千8百万円増）となりました。

④その他

書店事業は、前年度に事業を撤退しました。この結果、報告セグメントに含まれない事業セグメントの売上高は、2億3千万円（同3億8千8百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ32億8千7百万円増加し、純資産は18億1千3百万円増加しております。その結果、自己資本比率は61.8%から61.5%となっております。

増減の主なものは次の通りであります。

流動資産では、現金及び預金が6億2千9百万円増加し、売掛金が22億4千6百万円増加し、商品及び製品が8億3千8百万円減少し、原材料及び貯蔵品が3億2千9百万円増加しております。

固定資産では、有形固定資産が5千3百万円増加し、無形固定資産が8百万円増加し、投資有価証券が15億1百万円増加しております。

流動負債では、支払手形及び買掛金が10億5千1百万円増加し、短期借入金が22億5千万円増加し、賞与引当金が3億2千7百万円減少し、設備関係未払金が5億6千2百万円減少しております。

固定負債では、長期借入金が11億8千7百万円減少し、繰延税金負債が3億7千4百万円増加しております。

株主資本では、利益剰余金が8億9千7百万円増加しております。

その他の包括利益累計額では、その他有価証券評価差額金が10億4千6百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月23日に公表いたしました「投資有価証券売却に伴う特別利益の計上見込みに関するお知らせ」の通り、2026年3月期連結決算において投資有価証券売却益を計上する見込みです。第4四半期に向けては、電子部品業界の市場環境に不透明感が懸念されるものの、これらの状況を総合的に勘案し、2025年8月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。引き続き、持続的な成長を目指し、安定的な収益基盤の構築と収益力の向上に加え、更なる株主還元の強化に向けて取り組んでまいります。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,927	8,557
受取手形	85	93
電子記録債権	1,143	777
売掛金	8,987	11,233
商品及び製品	5,470	4,632
仕掛品	3,377	3,306
原材料及び貯蔵品	3,530	3,859
未収消費税等	124	—
その他	813	745
貸倒引当金	△12	△11
流動資産合計	31,448	33,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,532	39,702
減価償却累計額	△25,702	△26,134
建物及び構築物（純額）	13,830	13,567
機械装置及び運搬具	22,686	24,345
減価償却累計額	△14,712	△15,819
機械装置及び運搬具（純額）	7,973	8,526
土地	7,459	7,122
建設仮勘定	3,928	3,909
その他	6,996	7,180
減価償却累計額	△5,888	△5,953
その他（純額）	1,107	1,227
有形固定資産合計	34,300	34,353
無形固定資産		
その他	429	437
無形固定資産合計	429	437
投資その他の資産		
投資有価証券	4,548	6,050
長期貸付金	25	25
繰延税金資産	101	72
退職給付に係る資産	4,039	4,038
その他	234	244
貸倒引当金	△21	△23
投資その他の資産合計	8,926	10,407
固定資産合計	43,656	45,199
資産合計	75,105	78,392

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,555	4,607
短期借入金	10,575	12,825
未払法人税等	178	154
未払消費税等	31	42
賞与引当金	480	153
設備関係未払金	2,570	2,008
その他	2,716	2,643
流動負債合計	20,106	22,434
固定負債		
長期借入金	4,500	3,312
繰延税金負債	1,914	2,288
退職給付に係る負債	200	201
その他	1,987	1,945
固定負債合計	8,602	7,748
負債合計	28,709	30,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,757	5,757
資本剰余金	2,267	2,267
利益剰余金	33,719	34,617
自己株式	△476	△424
株主資本合計	41,267	42,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,105	3,152
為替換算調整勘定	135	159
退職給付に係る調整累計額	2,887	2,680
その他の包括利益累計額合計	5,128	5,992
純資産合計	46,395	48,209
負債純資産合計	75,105	78,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	30,871	30,442
売上原価	23,484	24,267
売上総利益	7,386	6,174
販売費及び一般管理費	4,033	4,187
営業利益	3,353	1,987
営業外収益		
受取利息及び配当金	142	145
持分法による投資利益	4	—
その他	104	73
営業外収益合計	250	219
営業外費用		
支払利息	88	115
持分法による投資損失	—	11
その他	154	104
営業外費用合計	243	230
経常利益	3,360	1,975
特別利益		
固定資産売却益	—	504
投資有価証券売却益	36	29
特別利益合計	36	534
特別損失		
固定資産除却損	197	136
関係会社清算損	—	58
特別損失合計	197	194
税金等調整前四半期純利益	3,199	2,314
法人税、住民税及び事業税	458	465
法人税等調整額	394	13
法人税等合計	853	479
四半期純利益	2,346	1,835
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,346	1,835

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	2,346	1,835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△365	1,046
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	53	24
退職給付に係る調整額	△180	△206
その他の包括利益合計	△491	864
四半期包括利益	1,855	2,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,855	2,699

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表)

前連結会計年度において、「受取手形」に含めていた「電子記録債権」は、金額的重要性が増したため、第1四半期連結会計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「受取手形」に表示していた1,228百万円は、「受取手形」85百万円、「電子記録債権」1,143百万円として組み替えております。

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において、独立掲記していた「営業外費用」の「休止固定資産減価償却費」は、重要性が乏しくなったため、中間連結会計期間より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「休止固定資産減価償却費」に表示していた66百万円を「その他」154百万円として組み替えております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,750百万円	2,839百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,928	15,637	686	30,253	618	30,871	—	30,871
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	52	22	74	222	297	△297	—
計	13,928	15,690	708	30,328	840	31,168	△297	30,871
セグメント利益	1,286	1,610	411	3,309	25	3,334	18	3,353

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額18百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	13,515	15,991	704	30,211	230	30,442	—	30,442
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	46	20	67	210	278	△278	—
計	13,515	16,038	725	30,279	441	30,720	△278	30,442
セグメント利益	1,092	434	414	1,941	26	1,968	18	1,987

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境測定等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額18百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

(1) 役員の異動 (2026年4月1日付)

①代表取締役の異動

該当事項はありません。

②その他の役員の異動

・新任執行役員候補

執行役員兼福島第一工場長

仲 岡 泰 裕

(現 理事 福島第一工場長)